

上尾市立中央小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

「たくましい子の育成」

○健康で明るい子 ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子

学校課題研究主題

「自分の思いや考えを広げ、
主体的に学び合う児童の育成」
－「伝え合う力」を育む指導方法
の工夫－

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
- 全体の平均正答率は、国語、算数、理科ともに全国や県の平均正答率を上回っている。 - 国語では、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」の平均正答率が他項目と比較するとやや低い。 - 算数では、「A 数と計算」「D データの活用」の平均正答率が他項目と比較するとやや低い。 - 問題形式別に見ると記述式の問題にやや課題がある。	- 学力レベルは、4～6年生で国語・算数ともに県を上回っている。 5年生では、学力レベルは昨年度から国語・算数で2段階以上、上昇し、6年生では、昨年度からの伸びがみられた。 - 主体的・対話的で深い学びの実施については、県の平均を上回っている。 - 学習方略は、各項目で県を上回り、R6→R7の変化量もプラスである。（5年） - 非認知能力は、向社会性の変化量が0.1である一方で、自己効力感は一0.1となっている。（5年）	- 各学年、国語・算数ともに目標値を上回っており、基礎的な学力は定着している。 2～5年生では、領域別「書くこと」、内容別「文章を書く」が目標値をやや下回っており課題が見られる。 3年生の算数では、教科全体では目標値を上回っているが、「活用」は0.5ポイント目標値を下回っており、基礎的な学力は定着しているが、それを活用して問題を解くことが課題である。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①漢字や言葉の意味など、言語に対する理解と使いこなす語彙力。 ②自分の思いや考えをまとめる力や条件に合わせて書くなど表現を工夫して書き表す力。 ③問題解決に必要な知識や応用力。	④分かりやすく、論理的に伝える表現力。 ⑤題意を正確に捉え、筋道を立てて考える判断力・思考力。	⑥自分の思いや考えをもち、言葉を通じて自己を表現し、意欲的に学び合う楽しさを味わおうとする態度。 ⑦問題解決において、多面的に考えようとする態度。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・読書指導・辞書引き活動・漢字や言語指導を継続的に行う。 ・文章構成や、自分の考えをまとめて表現することを意識した書く指導を取り入れる。 ・自力解決の時間を確保し、問題に繰り返し取り組ませる。	・論理的に思考し、表現する力を身に付けるためにペアやグループ学習を取り入れ、意見交流や互いに説明し合う時間を設定する。 ・筋道を立てて考えたり、生活と関連付けて考えたりする力やプログラミングの思考を養えるよう、ICT機器や実物を効果的に活用する。	・自分の思いや考えをもち、進んで自己表現しながら意欲的に学び合う態度を育てるための話し合い活動を意図的に取り入れる。 ・問題解決において、多面的に考え、主体的に学び合う態度を育てるためにICT機器を活用し、学習形態や表現方法を工夫する。

本校の特色ある取組

- ・基礎・基本の徹底
- ・言語環境の整備
- ・外国語活動の取組
- ・ICT機器の活用
- ・読書習慣の定着
- ・体力向上
- ・道徳科の取組

家庭教育との連携

- ・積極的な情報提供
- ・家庭との連携の充実
- ・地域との連携の充実